



いわき市ユニバーサルデザイン推進指針を策定 —いわき市—

いわき市では、ユニバーサルデザインの考え方を市政の様々な分野に取り入れ、全庁的、総合的に取り組む基本的な方向を示すものとして「いわき市ユニバーサルデザイン推進指針」を県内市町村に先駆けて、平成19年2月に策定しました。

超高齢化や少子化、国際化が急速に進み、障がいのある方の自立はもちろん、一人ひとりの個性をお互い尊重し、「思いやり」の心を基本としながら、ともに生き、助け合う社会の形成が必要とされており、これを実現させるためにも、ユニバーサルデザインの考え方が重要となっています。すべての人にや

さしいまちづくりに向け、市民、NPOなどの民間団体、事業者等、様々な主体が、幅広い分野で協働して取り組む際の、ひとつの目安となることが期待されます。

その策定に当たっては、平成18年5月に学識経験者や市民委員、公募による市職員で構成するワーキンググループを設置し、検討会議や市内関係団体へのヒアリング、市職員アンケート調査、先進事例調査等を行いながら素案を作成、これを基に庁内策定検討会議における協議、市民意見の募集(パブリックコメント)がなされました。

この指針は、『“認め愛、思い愛、支え愛”気づいたことからはじめよう!』をキャッチフレーズとして掲げ、「簡単」「快適」「安全」「調和」「柔軟」の5つを配慮すべき視点とし、施策や事務作業を推進する際に、チェックする視点としても活用すること

としています。

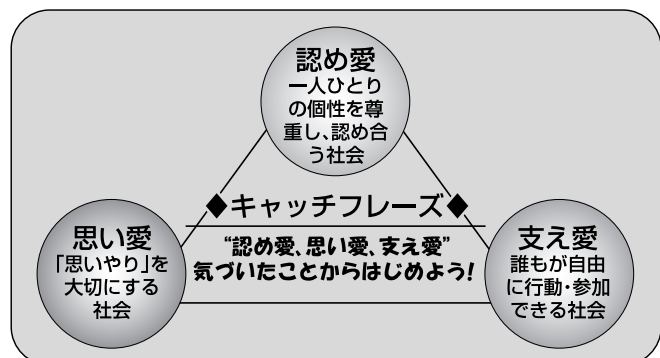
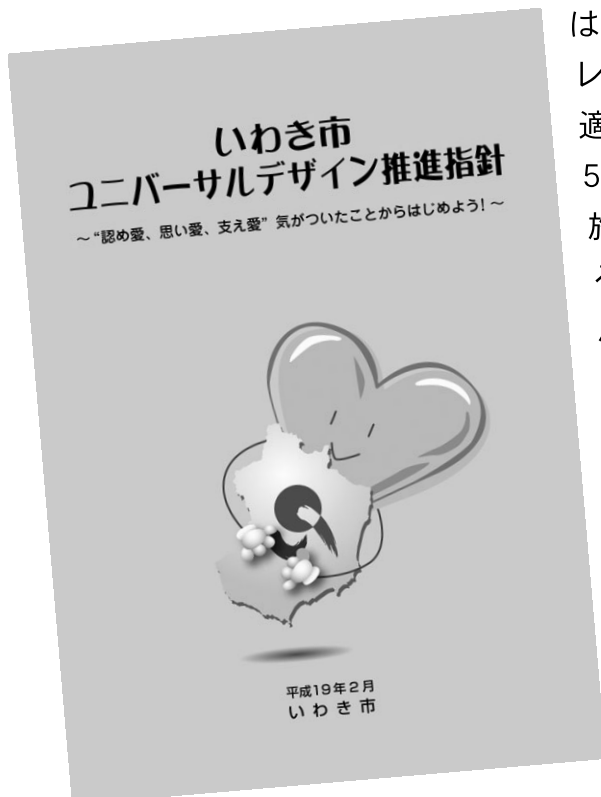
また、「人づくり」「まちづくり」「ものづくり」「サービス・情報」「社会参加」の5つの取組分野を定め、分野ごとの現状や課題、取り組みの方向、特に市内の取組みの具体例を数多く提示しています。

それぞれの地域や、市民、NPOなど民間団体、事業者等幅広い分野においてユニバーサルデザインの取り組みの広がりが期待されます。

指針については、いわき市のホームページからダウンロードすることができます。詳しくは、市企画調整課企画調整係へお問い合わせください。

◆お問合せ先◆

いわき市
企画調整部企画調整課企画調整係
TEL：0246-22-7410
FAX：0246-24-4300
E-mail：
kikakuchosei@city.iwaki.fukushima.jp
ホームページ：
<http://www.city.iwaki.fukushima.jp>





“かわりばんこ”にボランティア – ボランティアグループ かわりばんこ –

ボランティアグループ「かわりばんこ」は、平成9年に発足しました。メンバーは社会福祉法人ハートフルなこその職員たちで、特にグループ会員として登録する規約もなく、1年に1回位ボランティア活動に参加しようという職員の心で運営されています。

ひとつの高齢者福祉施設で出来ることには限界がありますが、専門家の集団であることから主に福祉の啓蒙活動を実践しています。

日頃、障がいをもって生活している高齢者の在宅や施設での支援サービスを仕事としているメンバーの方々は、障がいをもたない健康な生活や、たとえ障がいをもって家族と一緒に生活、そして出来れば地域が地域を支えあ

える体制の実現を望んでおられました。

主な活動内容は、高齢者福祉に関する出前講座や研修会の開催で、最も多いものは、小・中学校、高校の総合学習の一貫として行われる「高齢者疑似体験」「車いす体験」「点字体験」「視覚障がい者誘導体験」です。45人が体験可能とする備品、装具などを常備していることと、年間30前後の講座を行っているとのこと。

「体験を通して障がいもって生きることを実感し、友人、知人、家族、地域社会の中でひとりの人間として小さな行動を起す『きっかけ』になれば」と代表の伊藤幸子さん。

「一年に一回は気軽にボランティアをしようと、負担にならない範囲で活

動をしています、子どもたちの笑顔に出会うことで、活動が継続されているような気がします」と話して下さいました。



ふくしま型UDネットワーク形成促進事業実施報告

「ふくしまUDレター」も今年度の最終号を迎えました。ふくしま型UDネットワーク形成促進事業の一環として、UDパートナー養成講座、UDステップアップセミナー、UD実践セミナーを開催し、UDの情報収集、情報発信を行ってまいりました。これらの講座、情報収集、発信事業を通して見えてきた事業の成果と地域の問題点について触れてみたいと思います。

事業の成果としては、新たなUDのネットワークが広がりました。特に、昨年までほとんど参加のなかった行政の方やUDを実践している方の参加があり、地域でのUDの取り組みを検証することができました。また、UDでは全国で

も最先端に行く企業の実践事例を理解することができました。

地域の問題点としては、地域住民のUDに対する関心、意識はまだ低く、UDチェックに初めてテレビ取材が入りましたが、「バリアフリーチェック」として放映されるなど、マスコミの理解も進んでいないことがわかりました。中心市街地の検証作業で昨年指摘さ

れた場所もそのままの状態です。

しかし、問題点はまだあるものの、少しずつUDが浸透してきているように感じます。講座参加者への情報提供、講座・会議の継続的な開催、小中高生への教育の実施、広報・PR活動の充実など地道な活動の展開が必要と考えます。



連絡先:いわきNPOセンター

〒970-8043 いわき市中央台鹿島1-22-3
E-mail:info@iwakinpocenter.org

Tel.0246-29-4600 Fax.0246-46-2721
URL:http://www.iwakinpocenter.org/UD/